

キャラクター名
終夜 黎人 (しゅうや あきと)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ウロボロス		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	
	オプション		年齢	不明	性別	男
覚醒	探求	衝動	解放	初期侵食率	38	%
出自	天涯孤独	経験	平凡への憧れ	邂逅	同志	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3	1	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費	消費
生還者	P	N		
間鍋パーティー	P 好奇心	N 偏愛		
“犬飼 七子”	P 慈愛	N 偏愛		
“矢要 充”	P 慈愛	N 偏愛		
“勇猛舞身”ファイナル・シエバ	P 幸福感	N 偏愛		
霧切 舞歌	P 幸福感	N 偏愛		
廣見 哲司	P 親近感	N 偏愛		

最大財産P: 4 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト: E x	2	2	メジャー					
効果:								
伸縮腕	1	2	メジャー	視界		白兵		
効果: このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃の射程を視界に変更する。このエフェクトを組合せた判定ダイスを-[3-Lv]個する(最大0個)。								
ブレインハック	1	10	メジャー	至近	単体	白兵射撃		
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃が命中した場合、バステ[憎悪]を与える。[憎悪]の対象はあなたがシーン内からひとりを選択する。このエフェクトは1シーンに1回まで使用できる。								
完全獣化	3	6+1	マイナー	至近	自身	自動		
効果: このシーンの間、【肉体】の能力値を使用したあらゆる判定のダイスを+[Lv+2]個する。ただし、このエフェクトが持続している間、素手を除くアイテムはすべて装備、使用不可となる。								
要の陣形	1	3+1	メジャー		3体	シンドローム原初の赤		
効果: このエフェクトを組み合わせた行動の対象を3体に変更する。このエフェクトは1シナリオにLv回まで使用できる。								
暴食の神蛇	1	4	メジャー	武器		白兵	80	
効果: このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃に対するリアクションにおいて、対象はエフェクトを使用できない。さらに、エフェクトの効果で得た装甲値を無視してダメージを算出する。ただし、この攻撃は素手によるものでなければならぬ。このエフェクトは1シナリオにLv回まで使用できる。								
サポートデバイス (肉体)	3	6+2	セットアップ	至近	自身		80	
効果: 取得時に基本能力値からひとつ選択する。そのラウンドの間、選択した基本能力値を使用した判定のダイスを+[Lv*2]個する。このエフェクトは1シナリオに3回まで使用できる。								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGNに所属するオーヴァード。支部長職を務めており、高い任務達成率を誇る敏腕の戦闘員でもある。本来はエグザイルのピュアブリードなのだが、ある手段によって他のシンドロームの力も所持しており、「人為的なウロボロス」と言う性質を持つ。この事について彼は「戦死したチルドレンやエージェントの力を受け継いだ」と語っており、事実、彼が使う技はかつて彼の支部に所属していたチルドレン達が得意としたものばかりである。性格は温厚で冷静沈着。誰に対しても柔らかい物腰で接し、人の上に立つ者としては申し分ない。「日常を守る」というUGNの方針に心から賛同しており、目的のために自身の力を酷使する事に一切迷いが無い。……と、ここまでなら優秀で頼れる支部長なのだが、彼の支部では度々チルドレンの失踪・戦死が発生しており、定期的に戦力の補充が行われている。この事に不審を抱いたエージェントが何度か調査を行っているが、現時点では原因ははっきりしておらず、また彼とチルドレンとの関係も決して悪いものではない事も確認されている。しかしながら他にも倒したF Hエージェントの死体をそのまま回収する、失踪事件の度に彼の力が増している等、不審な事実と黒い噂は絶えない。

結論から言うと、彼が異なるシンドロームの力を操る事が出来るのは、臓器移植によって他者のシンドロームを取り込んだからである。エグザイルである彼の体は複数の臓器を体内に保有する事が出来、戦死したチルドレンやF Hエージェントの臓器を悉く自身の体に移植している。そうする事で、稀にはあるが移植した臓器に宿ったレネゲイドと自身のレネゲイドが上手く結合し、力の一部を使う事が出来るのである。彼の体には複数の心臓が埋め込まれており、普段は一つしか動いていないもの他者のシンドロームの力を使う際に鼓動を始める。キュマイラの力を使いたい時はキュマイラだった少女の心臓を。モルフエウスの力を使いたい時はモルフエウスだった少年の心臓を。彼らの臓器は彼の体内で生き続け、彼の力となっている。それが彼らの望んだ事だったのかは知り様が無いが、確かな事は彼らの力が今なお「日常を守る」為に酷使されているという事実である。

そんな経緯で力を得た彼の戦闘スタイルは白兵型で、正面からの殴り合いを得意とする。